

県立中央病院の新型コロナウイルス感染症に係る取組み

1. 治療体制の強化

- ① 新型コロナウイルス患者については、令和2年度は11月末までに65名、令和元年度を含めると72名の入院患者を治療
- ② 令和2年2月から、情報共有のため、週3回（月、水、金）朝7：30より、多職種によるコロナ対策会議を開催
- ③ 令和2年4月から、3密巡視を開始
- ④ 令和2年4月に、新型コロナ感染症の職員の罹患等により、診療規模を通常の5割以下に縮小せざるを得ない場合を想定して、事業継続計画BCPを作成
- ⑤ 令和2年5月から新型コロナウイルス感染症患者に対応するため、発熱外来用プレハブを9台設置し診療室等として活用併せて、診断のためのポータブルX線装置や超音波画像診断装置、治療のための人工呼吸器20台や人工肺2台等を整備
- ⑥ 令和2年7月に院内感染防止と患者の診断・治療の指針としての「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成し、電子カルテに掲載
- ⑦ 令和2年8月に新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定を受け、最大45症の受入れ体制を整備
重症患者の受入れについては、当院と山梨大学医学部附属病院で役割を分担することとした
- ⑧ 令和2年10月に新型コロナウイルス感染症患者受け入れのため、8B一般病床3床を陰圧室に改修
- ⑨ 令和2年11月から、新型コロナウイルス感染症疑い患者専用の個室病床を確保し、全病床で酸素投与及び呼吸モニタリングが可能な協力医療機関において、夜間に陽性患者が発生し、重症化もしくは重症化の恐れがある患者の受入要請があった場合、当院が曜日（月・水・金・日）により受け入れることとした
- ⑩ 令和2年7月に新型コロナウイルスの院内感染を想定した対応訓練を実施し、59名（院内56名、保健所等3名）が参加
- ⑪ 令和2年9月に7月の対応訓練で確認された課題に対する訓練を実施し、53名が参加
- ⑫ 令和2年11月には、新型コロナウイルスに係る職員陽性者発生時の振り返り訓練を実施し、61名が参加

2. 院内感染防止 (患者さん等)

- ① 令和2年3月から全部署の換気確認を開始。また11月より、二酸化炭素の計測器による換気の見える化に着手
- ② 令和2年4月に3密を避けるため待合席を整理
- ③ 令和2年4月から入院予定患者の入院前PCR検査を実施
緊急入院の患者については、PCR検査の結果が判明するまでは必ず個室に入院させることとした
- ④ 令和2年5月に飛沫感染防止のため会計窓口等にアクリル板を設置
- ⑤ 令和2年5月から入院患者全員のマスク着用推進
- ⑥ 令和2年5月から来院者すべての正面玄関入口における体温測定を徹底し、発熱者はコロナストップ・発熱外来にてコロナ感染症の有無をチェックする体制を構築
- ⑦ 令和2年5月から面会基準を見直し、主治医の許可があり体調に問題がない人に制限した。また、11月からは面会は原則禁止とし、主治医の許可があり体調に問題がない人であっても1日1人10分以内とした。
- ⑧ 令和2年7月に委託業者9社269人に対して、抗体検査を実施。その後も業者来院の際にPCR検査等を実施
- ⑨ 令和2年8月から付き添い家族へのPCR検査を開始

3. 院内感染防止 (職員)

- ① 令和2年4月に新規採用職員130名及び異動職員に対し、PCR検査を実施
- ② 令和2年4月から職員全員が毎日体温測定を行い、発熱状況を見える化した体温モニタリングを実施
- ③ 令和2年5月に職員の抗体検査を1,307件実施、12月にも同様の抗体検査を実施
- ④ 令和2年5月に飛沫感染防止のため事務室等にアクリル板を設置
- ⑤ 令和2年5月から7月の間、職員の3密を避けるため、ローテーション勤務を実施
- ⑥ 院内感染防止及び福利厚生の一環として、令和2年8月から11月の間、希望する職員162人に対して、休暇前後の新型コロナウイルスのPCR検査、抗体検査を実施
- ⑦ 令和2年11月に当院職員5名の感染が確認された際に、職員、職員家族、患者、外部業者に対して、PCR検査605件、抗原定量248件、フィルムアレイ35件を実施し、全員の陰性を確認

4. 県等への協力

- ① 令和2年4月から新型コロナウイルス医療対策本部における入院調整班としてDMAT隊員等を派遣
- ② 令和2年4月から5月に県新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設（ホテル若神楼）へ延べ32名の看護師を派遣
- ③ 令和2年8月から9月に新型コロナウイルス感染拡大に伴い医療体制性が逼迫した沖縄県へ看護師2名を14日間派遣
- ④ 令和2年8月から11月にクラスターが発生した医療機関等（赤坂台病院等）へ感染管理に係る専門医・看護師 延べ14名を派遣
- ⑤ 令和2年9月から新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊婦へのPCR検査を実施し、令和2年11月末までに、当院患者161名、他院患者14名を検査
- ⑥ 令和2年11月から県新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設（東横イン甲府駅南口）に係る医師のオンコールに対応

5. 地域医療機関への協力

- ① 24時間体制の発熱外来における高感度で迅速な検査体制の構築（PCR検査+フィルムアレイ）
- ② 令和2年11月から、かかりつけ医からの新型コロナウイルス検査の依頼について、FAXで申込、FAXで回答
- ③ 令和2年10月から甲府市医師会においてPCR検査を実施するため、甲府市医師会の検査技師2名の研修を実施
- ④ 令和2年4月に甲府共立病院の新型コロナウイルスの対策会議・院内ラウンドのため、感染看護認定看護師を派遣
- ⑤ 令和2年4月に塩川病院の院内ラウンドのため、感染看護認定看護師を派遣